

第3回教科用図書採択審議委員会

日 時 令和5年7月27日（木）

13：00～15：00

場 所 西地区コミュニティセンター 第4講座室

○事務局 定刻となりましたので、ただいまから第3回採択審議委員会を始めます。

審議委員の皆様には、午前中に開催いたしました選定委員会に引き続き、出席賜りありがとうございます。これからは、選定委員会の報告を受け、さらに審議を深める会となります。長時間にわたる会となりますが、どうぞよろしく願いいたします。

さて、本日は10名中8名の委員の皆様の御出席ということで、佐世保市教科用図書採択審議委員会条例第6条第2項にのっとり、会を開催させていただきます。

それでは、この後の進行を審議委員長にお願いいたします。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長 では、皆さん、こんにちは。今日はよろしく願いいたします。座って会を進めさせていただきます。

では、これより、第3回になりますが、採択審議委員会を始めます。

先ほど事務局のほうからも話がありましたけれども、選定委員会におきまして、選定委員会の皆様の御意見とか、あるいは、現場の先生方の御意見等をいただきました。この後、本会へ各種目2から3推薦していただきます。その選定委員会の意見を参考にしながら、教科書の妥当性とか有効性とか活用の方法など、特に私たちは、やはり佐世保市の子供たちにとって一番いい教科書は何なんだというところに大きな視点を置くべきではないかなというふうに思っております。検定教科書ですので、もう既に国のほうから検定を通過している教科書でございますので、究極言いまして、どの教科書を使っても何ら問題はないんですけれども、いわゆる佐世保市の子供たちにとって、あるいは、佐世保市の先生方にとってというところに特化した形での採択をしていくという形になるのではないかなと思います。この後、佐世保市の児童にふさわしいと思われる教科用図書を、2、3者を推薦することとなります。

なお、この後、選定委員会のほうからの御報告を受けますけれども、選定委員会からの報告を受けたからそういうふうにしませうということではなくて、私たちは私どもで、いわゆる研究してきたもの等を受けて、皆様の御意見を伺っていかうかと思っております

ので、よろしくお願いいいたします。

委員の皆様の白熱した御意見をいただければありがたいなというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

では、まず各種目の推薦された出版者について、選定委員会の主宰者のほうから御報告のほうをお願いできませんでしょうか。

○選定委員会主宰 失礼いたします。選定委員会において推薦された各種目の出版者について御報告をいたします。座って報告をさせていただいてもよろしゅうございますでしょうか。（「お願いします」と呼ぶ者あり）失礼します。

まず、選定に当たり、次のような視点で選定を行いましたので、視点の紹介をします。

1、教育基本法の理念や長崎県や佐世保市教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長。

2、学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長。

3、学習効果や使いやすさ、見やすさ、いわゆるユニバーサルデザインなどの観点からの表記・表現や体裁の特長。

こういった視点で選定をしてみました。結果については、いわゆる3者、もしくは2者をお伝えするんですが、選定の際の皆さんから出された意見について、簡単ではありますが、触れさせていただきます。しばらくお時間のほうを頂戴いたします。

まず、国語です。3者は、東京書籍、教育出版、光村図書、この3者でございます。まず、東京書籍です。基礎・基本の技能習得のため、巻頭に学習の進め方を例示したり、ノート作りや話合いのコツなどを明記している。それから、単元を貫く言語活動のイメージ化を図るなどの工夫が見られる。説明内容を解説するグラフなどを示し、学習意欲の効果が高まるような工夫がということでございました。

次に、2つ目、教育出版です。教科書を年間2冊に分け、児童が持ち運びやすいようにしてあった。それから、主体的な学び、考えようとする力が身につくように、言葉による見方、考え方に力を入れてあった。それから、書くことの領域においては、日常化を図る系列や課題追究、論理的に書く系列など、こちらも学年ごとの系列を意識して単元構成が組まれていたということでございました。

そして、3つ目、光村図書です。まず教材で、「ちいちゃんのかげおくり」、「海のいのち」に加え、「たすねびと」の題材が取り上げられており、被爆地長崎県にとっては郷土の歴史や文化自然への観点から適した題材が入っている。それから、主体的に学習に取

り組む態度が身につくように、「読むこと」の単元に「単元の扉」と学習の流れをまとめた「学習のページ」が設けてあったのが、特に印象的であったということでした。

このようなことが、この3者については上げられました。

次は、書写です。書写は、東京書籍、教育出版、光村図書、この3者です。

東京書籍です。各単元に文字を整えて書くための決まりとして「しょしゃのかぎ」を示し、単元の狙いを明確にし、学習要素を系統的に分類・整理しインデックスに示してあったりするなどの工夫が見られた。それから、ユニバーサルデザインの観点も見られたということでございました。

次は、教育出版です。単元の導入では、めあてに続いて「考えよう」の項目を入れ、思考、判断、表現力育成のための工夫があった。それから、よい姿勢について、「こしびん・足ぺた・ぐう一つ」など音声で表したり、筆の持ち方など基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるように工夫されていたということでございました。

光村図書については、はらい、おれ、そりなど各単元で学習する狙いが強調されており、知識・技能が確実に習得できるものになっている。それから、書く姿勢や筆の持ち方、タブレット使用時の姿勢に加え、動画の整理体操まで分かりやすく示してあり、児童が楽しく書写が学べる一助になっていたということでございました。

次は社会です。社会は、東京書籍、教育出版、日本文教出版、この3者です。

東京書籍は、全学年において、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程で構成してあり、系統的に社会的な事象の追究、思考・表現力が育てられるようになっていた。レイアウトもとてもよかったということでした。また、二次元コードにより、副教材的なコンテンツが豊富で、動画とかクイズ、ワークシートがたくさんあって、そこが特長になっていたということでございました。

2つ目、教育出版です。全学年において、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習過程によって各単元を構成してあり、レイアウトもとてもよかった。それから、6年生の歴史単元、戦後の様子を伝える写真では白黒をカラー化し、戦後に向けて明るいイメージが持てるような工夫がしてあったということでございました。

それから、日本文教出版です。全学年において、課題を発見・追究・解決し、深めていくという学習の流れが示されており、知識・技能を活用した問題解決学習を促し、思考力、判断力、表現力などが育成されるよう工夫されていた。それから、キーワードコーナーが設けられており、学習理解に必要な重要語句を示すことにより、より分かりやすく社会科

の理解が深まるようになっていたということでした。

それから、地図です。地図は、東京書籍と帝国書院、この2者でございます。

東京書籍のほうは、東アジアを大きく掲載し、日本の位置を把握させ、次に日本の全体像、そして日本の各地方という展開になっていた。情報量が多いのですが、細かく記載しており、丁寧であったということでした。

帝国書院は、情報量を子供の発達段階に合う形で配置しており、知的好奇心を十分に喚起できるようになっていた。それから、「日本の自然災害と防災」というところで、地形による災害の起こりやすさをイラストにまとめたり、手書きの防災マップが例示してあったり、子供たちが資料として扱いやすい内容になっていたということでした。

以上、社会は社会科と地図のことについてでした。

次は算数です。算数は東京書籍と教育出版、それから啓林館です。

東京書籍は、ICTのよさを生かした深い学びの実現が図れるよう、問題解決の際に活用できるデジタルコンテンツが用意されていたということでした。

教育出版は、単元末、「学んだことを使おう」で数学のよさを実感し、日常生活に算数を生かすことができるということになっていたということでした。

啓林館は、特に解説動画などQRコンテンツが充実するなど、1人1台端末を有効活用できるようになっていた。新時代の学習スタイルの構築に資する構成となっており、児童自身が「めあて」を導き出す授業展開ができるなど、主体的に取り組めるものとなっているということでした。

それから、理科です。理科は、大日本図書、教育出版、啓林館です。

大日本図書は、佐世保市の自然などを深める学習に、特に生かすことができるということでした。

それから、教育出版は、理科の見方、考え方を明記しており、スムーズに学習ができるということでした。

啓林館は、問題解決学習に生かせ、暮らしと関連づけて学習ができるということで、意見が出されておりました。

続きまして、生活科です。生活科は東京書籍、光村図書、啓林館です。

東京書籍は、学習のマナーなど、児童に考えてほしい点が分かりやすく示しており、社会規範や道徳性などを身につけることができるというふうに考えられるということでした。

光村図書は、教科書全体を通して、イラストや言葉の端々に子供それぞれの感じ方や成長を大切にしようとする姿勢があり、多様性や安心感が重視されることからふさわしいと考えられるということでした。

啓林館は、自然との関わりを大切にした構成で、動植物に親しみを持ち、生命を大切にしようとする態度を養うことができると考えられるということでした。

そして、音楽です。音楽は2者です。教育出版と教育芸術です。

教育出版は、見開きページを使い、大きな挿絵、リコーダー指遣いを見ながら練習ができる工夫がしてあったり、各題材に学びナビとして学習の進め方が示してあったりしたということでした。

教育芸術のほうは、題材内の学習の進め方を考える、見つける、歌う、演奏する、作るというアイコンを使い、具体的に手順を追って示してあるということでした。児童の自主的な学びに寄与することはもちろん、教師側の指導の手がかりとしても有効であるということでした。

続いて、図工です。図工は、開隆堂、それから日本文教出版です。

開隆堂は、教科書の巻頭に職業及び生活との関連を重視して、多様な人々が造形に関わっている姿を取り上げることで、創造性を培うことの大切さが伝わるように配慮されていた。それから、どの領域、題材においても、造形的な見方や考え方の視点が吹き出しとして多数記載されており、児童自身が発想を広げ、制作の手がかりとすることができるよう配慮されていたということでした。

日本文教出版は、オリエンテーションのページが全学年に設けられている。そのことで、図画工作科を学ぶ意義や1年間の学習の進め方を子供たちと共有することができる。活動に入った際にも、学習意欲を喚起するよう工夫されていた。特に3・4年生の上の分では、「土のライブラリー」で長崎県の五島、平戸、対馬の土、5・6年の下において長崎県の「平和の祈りキッズゲルニカ in ながさき」が紹介されてあったということでした。

次は、家庭科です。家庭科は東京書籍、それから開隆堂です。

東京書籍は、教科書の冒頭に家庭や地域の生活を見つめたり、工夫したりするときの見方や考え方を「家庭科の窓」として4つの視点で示してあり、自ら学び、生活をよりよくしていこうとする意欲を高め、自立した人間の育成につながるよう工夫されていた。それから、写真やイラストが興味を喚起したり、イメージを膨らませたりしやすいように工

夫されていたということでした。

開隆堂は、教科書冒頭に、家庭科が自分の生活を見詰めることからスタートし、自ら学び、生活をよりよくする意欲を高めるために、生活の見方や考え方を4つの視点で示す工夫がされてある。それから、題材ごとに「気づく・見つける」、「わかる・できる」、「いかす・深める」の3ステップがあり、生活の一場面の気づきから主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていたということでした。

次は、保健です。保健は、大日本図書、光文書院、学研、この3者です。

大日本図書につきましては、SDGs 持続可能な開発目標の取組と保健学習の関連について取り扱うなどの視点が明確になっていたということでした。

光文書院につきましては、本市の体育副読本との関連があり、文章表現が簡潔で、言語活動を設定しやすいことが、一つ上げられるということでした。

学研につきましては、成長の個人差理解の工夫、心と体が相互に影響する科学的理解の工夫、喫煙や飲酒の断り方、ロールプレイ資料の掲載に加え、全体的に優しい色遣いで、落ち着いた学びができるようになっていたということでした。

そして、英語です。英語は、東京書籍、三省堂、啓林館、この3者です。

東京書籍、「NEW HORIZON」ですが、どの単元においても「めあて」が明確であり、具体的に取り組めるように工夫されていた。また、学習活動も豊富に準備されていたということでした。

続いて、三省堂です。三省堂は「CROWN Jr.」ですね。各単元で、児童が確実にステップアップできるようにスモールステップの単元構成がなされているということが特長である。言語活動などがスパイラルに学ぶ工夫がなされているということでした。

続いて、啓林館です。啓林館は、「BLUE SKY」という教科書になっています。単元内の活動過程が目的的に配置されており、段階を追って知識・技能が身につくようにされている。それから、実際の場面で学習したことを使わせることで、コミュニケーション力の向上が図れるような工夫がなされているということでした。

そして、最後です、道徳です。道徳は、東京書籍、教育出版、光村図書です。

東京書籍は、道徳の学習指導要領に「児童が自分自身の問題と捉え」とあり、そのための教材末の発問や巻末のツール紹介など、効果的な指導の工夫が提示されているということでした。

教育出版は、現代社会の課題である「いじめ」「情報」について、クラス編制後の年度当初に設定してあり、課題の重要性を強く認識してあることが分かるということでございました。

光村図書は、学習指導要領に「議論する道徳」とあり、教材末の「考えよう」「話し合おう」のコーナーに、議論が活発に行われるように工夫がなされているということでございました。

以上が私のほうからの報告でございます。以上です。

○委員長 選定委員会主宰、御報告ありがとうございました。

何か質問ございますか。大丈夫ですね。

一旦ここで事務局、お願いします。

○選定委員会主宰 それでは、私のほうはこちらで失礼をさせていただきます。ありがとうございました。

〔選定委員会主宰退席〕

○委員長 今、報告がございました。大丈夫だったでしょうか、教科書会社名、もう一度確認させていただきます。国語は東京書籍、教育出版、光村図書。書写は、東京書籍、教育出版、光村図書。社会は、東京書籍、教育出版、日本文教。地図は2者です。東京書籍、帝国書院。算数は6者ありますが、この中から3者というところで、東京書籍、教育出版、啓林館。それから、理科は、大日本図書、教育出版、啓林館。生活科は、東京書籍、光村図書、啓林館。音楽は2者ですので、教育出版と教育芸術。図工は2者ですので、開隆堂と日本文教出版社。家庭科も2者ですので、東京書籍と開隆堂。保健は、大日本図書、光文書院、学研。外国語は、東京書籍、三省堂、啓林館。道徳は、東京書籍、教育出版、光村図書という報告でございました。

では、私たちのほうもこれからもう少し、この御意見等も参考にしながら、教育委員会のほうへ提出いたします推薦する部分について審議を重ねていきたいと思っているところですので、よろしく願いをいたします。

教育委員会に上げる教科書につきましては、決めていく段階に入りますが、第1回の本会では、教育委員会は2から3者ほどフラットに上げるという方針で決めています。ただ、その中には幾らかそういう反面的なものとか、そういう特長的なもの等もしっかりと加えた上でということでの話がきているところでございます。

今回対象の教科用図書は13種目でございます、13種目。その中で、いわゆる2から3

者ほどで上げていくということなんですけども、2から3者しかない教科もございます。国語、書写、社会及び2者しかないのが地図、音楽、図工、家庭科でございます。ですので、全ての発行者を報告する形が考えられます。そこで、今の7種目につきましては、周りがございます教科書を手にとって、もう一度見ていただきまして、それでいろいろな意見等を伺って、特になければそのまま報告するという形を取りたいと思いますが、よろしいでしょうか。ただ、やっぱりその中でも皆さんの御意見とかも少ししっかりとした部分で入れていくことが必要になってくるのかなというふうに思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、教科書を見る時間を取りたいと思いますが、皆さんどうですか。

○審議委員　お願いします。

○委員長　どのぐらい時間をとっていいですか。

○事務局　10分ぐらいでいかがでしょうか。

○委員長　10分とりたいと思います。では、今報告がありました中で、少し気になるのか、そういうようなところがある部分につきましては、少し教科書等を見ていただいたり、前回の会の中で話題になりましたこと、あるいは前回、教育委員会の指導主事さんが発表された部分についての原稿もファイルの中に挟んでありますので、そちらも見ていただければと思います。それではこれから10分間時間をとります。まず国語から協議を進めてまいりたいと思いますので、国語の教科書を見ていただきたいと思います。よろしくお願いをいたします。

〔教科書研究〕

○委員長　それでは、時間になっておりますので、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、まずは国語からいきたいと思っております。国語は東京書籍、教育出版、光村図書の3者ございます。何か御意見等がございますでしょうか。

それでは私から少し話をさせていただきます。一番分かりやすいのは、小学校5年生と4年生の教科書の中に、大体3者ともあるのが、小学校5年生の教科書でいいますと、多分皆さんも習ったのかなと思いますが、「大造じいさんとガン」という教材です。これをちょっと読み比べていただければと思います。それと、もう一つは、「ごんぎつね」というのが4年生の教科書にあるんですけれども。まず「大造じいさんとガン」というのが、これは光村図書と教育出版とは書き方が違うんですよ。多分光村以外は、「今年も、残雪

は、ガンの群れを率いて、ぬま地にやってきました。」というところから始まっていると思います。でも、この光村の教科書は違うんですよ。この話は今から三十五、六年も前の話なんだよっていうふうな説明がつくんですよ。そして、大造じいさんとガンが入っていく。この教科書はちゃんと、これはおじいさんが35年ぐらい前の話なんですよっていう説明があって話が出てるとい、非常にこの出版社が国語とかそういうのに特化したもので、非常に作りが丁寧になっているのがまず1点あるんですけども。

それと、もう一つは「ごんぎつね」です。「ごんぎつね」の最後の挿絵を見ていただければと思います。これもみんな入っているんですけど、一番最後の挿絵を見ていただくと、青い煙が出るんですよ、銃から。これ国語の場合には形象よみといって、色が何を表しているのかということをお子たちに考えさせるんですね。青い色っていうのはどんな意味なのというような。これがやっぱり2者は入っているんですかね、ほかは入ってないんです。青い一筋の煙がふうっとたっているというのが。

○審議委員 確かに、挿絵の中に煙がついていますね。

○委員長 光村は、非常に、何ですかね、読者にとって、子供たちに丁寧ですね。三十何年前の話なんだよという最初の説明があって、それから大造じいさんの話が出てきたりとか、「ごんぎつね」の中でも、ごんを撃つ鉄砲から青い筋がこう出ますよ。その青い煙が何を表しているのというのを考えさせるとか。そうなったときに、そこに何かイメージするようなものがあれば非常にいいのかなというところが、国語の場合によってはすごいなと思います。

○審議委員 先生方がこれを教えられるときに、この青いというのが、今おっしゃったようなことも触れられる。

○委員長 触れるはずですね。触れなくちゃいけない。形象よみで子供たちに色で読ませるというのがあって、それが白だったらどうだろうとか、赤いのとか。「ごんぎつね」は、赤とか黒とか青とか色で読ませるというような方法が出てくる。いわゆる形象よみという言い方なんです。

○審議委員 さっきの大造じいさんの選定となるころも、やはり触れる的なものだっていうことでしょうけど、やっぱり皆さんも触れられてる。

○委員長 どうですか。大造じいさんはいきなり、じいさんなのに野山を走り回ったのが不思議だなというのをその前にきちっと、これは大造じいさんが三十何年前の話なんですよっていうのを前提に置いて読ませるっていう、親切だよなと思うんですけど。

○審議委員 書いてあれば自然とそういう話に。書いてなかったら、先生が前置きをして。
○委員長 やっぱり作り込みが、いわゆる光村という教科書会社の何か、これ一事が万事で、いろんなところにそういうのが出てくるんですけども、一番分かりやすいというか、各教科書会社が同じものを使っているというところを見れば、その作りが分かるかなというふうなことがありましたものですので、非常に光村の作りのよさが感じ取れるような教材なのかなと思ってまして、ちょっと話ししました。

ほかに何かございますか。

○審議委員 光村図書には「ちいちゃんのかげおくり」が取り上げられ、被爆地である長崎県にとっては適した題材が入っているなと思いました。

○審議委員 光村の作りのすばらしさに感動しました。細かいところまで気を使って作られているなど。ただ、教育出版の2冊に分けているっていうのも、それも低学年にとっては、中学年以下にとってはありがたいなと思いました。ランドセルが結構、紙の質が上等になって重たくなっているし、サイズもちょっと大きくなっている。それを考えると、2冊に分けているというのも一ついい手だなと思いました。

○委員長 ほかに何かございますか。

○審議委員 低学年でも教科書は置いて帰れないのですか。

○審議委員 置いて帰ってもいいよというふうになっています。

○審議委員 ただ、国語と算数は結構毎日使いますし、宿題も結構国語、算数が出るので、国語と算数に限っては持ち帰ることが多いです。

○委員長 これは3者、教育委員会のほうには上げていくことにはなるんですけども、作りから言うと、やっぱり光村の作りは小さいところまで気を遣って作っているんだなっていうことを改めて感じました。ほかに何か御意見がございませうでしょうか。

○審議委員 東京書籍は、巻頭に学習の進め方を示したり、ノート作りなどを明記したりしているところがわかりやすいと思いました。

○委員長 選定委員会の資料にも、その点は特長として挙がっていましたですね。ほかに何かご意見がございませうでしょうか。

では、国語は3者ですので、採択審議委員会として東京書籍、それから教育出版、光村図書を推薦するというところでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、次に、書写のほうにいきたいと思います。書写も3者です。書写も国語と同じく

東京書籍、教育出版、光村図書が上がっております。

○審議委員 書写は国語と同じ出版者でないと駄目とか、そういうのはあるのでしょうか。

○委員長 そういうことはありません。同じ出版者でも構いませんし、別の出版者でも構いません。

〔教科書研究〕

○委員長 いかがでしょうか。

○審議委員 光村図書がシンプルな作りになっていていいなと思いました。1年生の書写で見ているんですけど、一番シンプルで、写真も実物大というか、子供たちにとってもわかりやすく、いいのかなと思いました。

○委員長 結構何か写真とかイラストとか非常に豊富で、光村の分は視覚的にも捉えやすいような感じが、私も見ていてしておりました。ほかの皆さん、いかがですか。

○審議委員 例えば、こちらでは1年生の教科書を見ていたのですが、先ほど委員が言われたように、光村が分かりやすく、1年生から見ても分かりやすいかなという感じを受けました。

○委員長 非常にイラストも多くて、光村の教科書というのはシンプルでいいのかなと思いつつ見ながら見ていました。ごちゃごちゃと情報があまり多過ぎてもなかなかというところもあるんでしょうけれども。

○審議委員 イラストが多いので、親が見て「このようにしなさい」と伝えやすいなと思いました。

○委員長 先ほどから、委員が何か一生懸命見られていましたが、特にどこを見られていたのですか。

○審議委員 手紙の書き方のところを中心に見ていました。どの教科書も、手紙の書き方についてはあまり変わらないなという印象を持ちました。

○委員長 光村図書についての御意見が出ていますが、教育出版、東京書籍についての御意見はいかがでしょう。

○審議委員 教育出版は、よい姿勢について「こしぴん・足ぺた・ぐう一つ」というように音声で表しているところは、子供たちにとってはわかりやすいのではないかと思います。

○審議委員 東京書籍は、ユニバーサルデザインの観点も見られたのが特長かなと思いました。

○委員長 他に御意見等、ございませんでしょうか。

では、書写は3者ですので、採択審議委員会として東京書籍、それから教育出版、光村図書を推薦するということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、次に社会に行かせていただきます。社会も同じように3者ございます。10分程時間をとりたいと思いますので、教科書を見ていただければと思います。

〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。御意見いただければと思います。3者ありますので、3者は全部一応推薦はしていくんですけども、その中でもここが特長というのがございましたら、御意見をいただきたいと思います。

○審議委員 東京書籍がいいかなと思いました。やっぱり同じところの地図を、日本全国47都道府県を比べてみましたけれども、分かりやすかったです。また、6年生の教科書も政治編と歴史編に分かれているので、ちょっと扱いやすいというか、分かりやすいかなというふうに思いました。

○委員長 ほかいかがですか。

○審議委員 5年生も2冊に分かれていて、扱いやすいなと思いました。

○委員長 東京書籍が非常に分かりやすく、また5・6年生では教科書が2冊に分かれていて扱いやすいという御意見が多いようですが、教育出版と日本文教についてはいかがですか。

○審議委員 教育出版と東京書籍は同じような構成になっていて、日本文教だけちょっと違っているなと思いました。日本文教は少し分かりにくいかなと思いました。

○審議委員 3年生の「まちを探検する」内容を見たんですけど、日本文教だけ書き方が違って、委員が言われたように少し分かりにくいかなという印象を持ちました。

○委員長 教育出版についてはいかがですか。

○審議委員 教育出版の歴史のページを見たんですが、白黒写真をカラー化していて、子供たちにとっては、とてもわかりやすいのではないかなと思いました。

○委員長 白黒写真をカラー化していて、この点は教育出版の特長ではないかという御意見でした。他に御意見ございませんでしょうか。

では、社会は3者ですので、採択審議委員会として東京書籍、教育出版、日本文教を推薦するということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、次に、地図でございます。地図は2者ございます。10分程時間をとりた

と思いますので、教科書を見ていただければと思います。

〔教科書研究〕

○委員長 よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○審議委員 帝国書院のほうイラストで比較的立体的なので、シンプルで伝わりやすいなと思いました。

○審議委員 地図の見方っていうことの説明が結構きっちり文字で書いてあるんです、東京書籍の方は。帝国書院のほうは分かりやすい表記で、文字も書いてあるので分かりやすいんじゃないかなと思います。

○委員長 ページ数に対しての情報量が多過ぎるということですね。

○審議委員 はい。

○審議委員 委員長が言われたようにページ数に対しての情報量が多いなと思います。その分、丁寧だなという印象を持ちました。

○委員長 丁寧な作りになっているという点が東京書籍の特長ではないかという御意見でしたが、他に御意見等ありませんでしょうか。

○審議委員 帝国書院の方が視覚的に訴えていて、見つけやすいなと思います。

○審議委員 山の高さもとてもわかりやすいと思います。

○委員長 非常に、帝国書院のほう地図の色とかが明るくて、何か非常に見つけやすいし、山の高さとかそういうようなもの等も一目でぱっと、高いねというのがよく分かるかということでは、やっぱり地図はそういう何か見やすくて鮮明でというのが一番なのかなと思います。前回話があったとおり情報量を制限していったというようなところも非常に、あまり詳し過ぎないということも、子供たちの中ではいいのかなということもあります。他に御意見等、ございませんでしょうか。

では、地図は2者ですので、採択審議委員会として東京書籍、帝国書院を推薦するということがよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは次に、音楽になります。音楽も2者です。教育出版と教育芸術がございます。10分程時間をとりたいと思いますので、教科書を見ていただければと思います。

〔教科書研究〕

○委員長 よろしいでしょうか。見られていかがだったでしょうか。それでは、御意見をいただきたいと思います。

- 審議委員 どちらもQRコードが付いていて、授業の中で使えるなと思いました。
- 審議委員 タブレットとかでも使いたいよね。
- 委員長 他に御意見等ございませんでしょうか。
- 審議委員 低学年、2年生の教科書を見ました。イラストだけ見たら教育出版だなんて思ったんですけど、デジタルコンテンツで親が分からないような音程の違いとか拍の取り方とかの解説があったのが教育芸術社のほうで、親としてはそういったものがあつたほうがいいかなと思いました。
- 委員長 親の立場として、デジタルコンテンツが充実しているのがよいという御意見でございましたが、他にございませんでしょうか。
- 審議委員 委員さんと同意見でございます。音楽を不得手としている人にとっては、とてもありがたいなと思います。
- 審議委員 低学年は教育出版のほうが丁寧だけでも、でも、高学年になってくるとやっぱりこっちのほうが作りはいいっていうか、教育芸術のほうが。それがいいですね。
- 委員長 見ていて、さっき、実際、お話があつたように、低学年の部分の作りからいうと、教育出版社で非常に何か丁寧なところがあるんですけども、年代が上がっていくにつけての作りからいうと、やっぱり教育芸術のほうがちょっと深めになるのかなという感じが私もいたしております。ありがとうございます。

では、音楽は2者ですので、採択審議委員会として教育出版、教育芸術社を推薦することによってよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは次に、図工にいきたいと思います。図工も2者です。開隆堂と日本文教出版がでございます。10分程時間をとりたいと思いますので、教科書を見ていただければと思います。

〔教科書研究〕

- 委員長 いかがでしょうか。御意見、所感はよろしいでしょうか。図工は開隆堂と日本文教出版とございますけど、何か特長的なものがありましたらお願いします。
- 審議委員 作品の例示が多いのは日本文教出版かなと思います。
- 委員長 子供たちの。
- 審議委員 子供たちのイメージが湧きやすい、広がっていくんじゃないかなと思うんです。
- 委員長 子供たちの作品とかがですね。

○審議委員 低学年の道具の使い方とかも、二次元コードはどちらにもついていたんですけど、日本文教のほうが道具の使い方が詳しかったです。

○委員長 ほか、御意見いかがですか。

○審議委員 日本文教には、中学年の「土のライブラリー」や高学年の「平和の祈りキッズゲルニカinながさき」で、地元長崎県のことが取り上げられていたので、子供たちにとってはいいのではないかと思います。

○委員長 日本文教の教科書には地元のものを取り上げられていて、子供たちにとっては親しみが持ちやすいという御意見でした。開隆堂については、御意見ございませんでしょうか。

○審議委員 委員が言われたとおり、開隆堂も二次元コードで道具の使い方を見ることができました。

○委員長 日本文教にも開隆堂にもいろんな特長がございます。私は日本文教のほうが、その題材で何を学んでいくのかということがページの横に明記されていて、非常に親切な作りになっているのかなという印象を受けました。

では、図工は2者ですので、採択審議委員会として開隆堂、日本文教出版を推薦することによってよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは次に、家庭科でございます。家庭科も2者です。東京書籍と開隆堂がございます。10分程時間をとりたいと思いますので、教科書を見ていただければと思います。

〔教科書研究〕

○委員長 よろしいでしょうか。教科書を見られて御意見いただきたいと思います。非常に熱心に比べていらっしゃる〇〇委員、いかがでしょうか。

○審議委員 開隆堂の教科書がとても見やすかったです。

○審議委員 私も開隆堂の方が見やすいなと思いました。

○審議委員 開隆堂の方が見やすいなと思ったのでは、開隆堂の教科書は見開きを上手に使われていて、流れが分かりやすかったからです。

○審議委員 開隆堂の方が、時間的な流れがとてもつかみやすい。作りがいいなと感じました。

○委員長 ほか、何かございますか。開隆堂の特長について御意見が出されていますが、東京書籍については気づき等ございませんでしょうか。

○審議委員 子供たちの興味を引き出すために写真やイラスト等、工夫されているなとい

う印象を持ちました。

○委員長 開隆堂、東京書籍の教科書を見られての特長について、御意見を出していただきました。その中でも開隆堂は非常に、見開きとか、小さいものから大きいものへとか、平易なものから難しいものへと工夫されているなという感じを私も受けました。

では、家庭科は2者ですので、採択審議委員会として東京書籍、開隆堂を推薦することによってよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、これからが私たちの一番の大きな仕事にはなってくるんですけども、次に、3者に絞らなければいけない種目が6種目ございます。算数、理科、生活、保健、外国語、道徳でございます。こちらについて、いわゆる3者に、あるいは3者が妥当かと思うんですけども、いや、もうこの2者が特出していいよというのがあればもう2者になるのかと思います。一応、3者を絞っていくことになると思います。

それでは、算数のほうから見ていきたいと思います。算数は6者です。東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版でございます。この6者を見ていただきたいと思います。

選定委員会のほうでは、東京書籍、それから、教育出版、そして啓林館、この3者が上がってきているというのが現状でございますので。特に東京書籍、教育出版、啓林館を中心に他の会社の分も見ていただければと思います。（「はい」と呼ぶ者あり）10分程時間をとりたいと思いますので、教科書を見ていただければと思います。

〔教科書研究〕

○委員長 それでは、よろしいでしょうか。

いかがだったでしょうか。一応、選定委員会のほうからは、東京書籍、教育出版それから啓林館という3者が絞られてきておりましたけれども、皆様にも今日その3者を中心に、大日本図書、学校図書、日本文教も見ていただきましたが、御意見等ございますでしょうか。

○審議委員 私は東京書籍か啓林館のこの2つならいいかなという感じがしました。ほかの教科書は、やっぱりちょっとサイズが違っていたりしていたので。あと、東京書籍と啓林館は書き込みがしやすく、分かりやすく、見やすいかなと思いました。内容的にもほぼほぼ変わらないかなというような感じになりました。

○委員長 今、東京書籍、それから啓林館がいいのかなというお話でございましたけれども、いかがでしょうか。

佐世保市のいわゆる全国学力状況調査等々の話の中でここ数年、かなり厳しい状況が続いているというのが現状でございます。特に数学とか算数とか、やはり厳しい状況かなと思うんですけども、子供たちにとって部活動とか運動とかいろんなものもあるんですけど、学力というのはいわゆる生命線だと思うんですよ、ライフラインだろうなど。これから将来に生きていく子供たちにとって、やはり義務教育は、いわゆる基礎学力をしっかりと身につけるといのがまず第一の主眼になってくるのかなと思うんですけども、そういう面から考えても、私たちは子供たちの教科書を選定していく上で考えていく必要があるのかなというふうに思うんですけども。

今、お話がありましたように、東京書籍とか啓林館というのが、非常に、単元の振り返りができたりとか、あるいは、間違いやすい問題などに取り組めるような復習ページがあったりとかいうのもあるということですが、いかがでしょうか。ほかに何か御意見がございましたらお願いします。

○審議委員 6年の円の面積のところを見ていたんですが、私も東京書籍、それから啓林館がわかりやすいなという印象を持ちました。

○委員長 東京書籍、啓林館は、他にもいわゆるICTのデジタルコンテンツが非常に豊富だったという御意見なども多かったようです。あとは、啓林館は習熟を図るような練習問題が豊富であるとか、1時間単位で区切られているとかが報告があっているようです。

○審議委員 上がっている3者はイラストが豊富で分かりやすく、私が子供に教えてと言われても、ああ、これは、この絵のとおり、1足す2、1と2で3になっているんだよというのがイラストで分かりやすいので、この3者はどれもそうなんですけど、特に、イラストは多いんですけど、分厚かったのが教育出版かな。ちょっと重たかったのかなとは思いますが。

○委員長 午前中の、先生方、現場のほうからの中でも、いろいろ、東京書籍と教育出版、啓林館のこの3者が上がってきているんですけど、審議委員の皆さんの意見を伺ったところ、これは異論がないようですね。

では、算数は、選定委員会から推薦があった東京書籍、教育出版、啓林館の3者を採択審議委員会として教育委員会に推薦するというところでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、一応、算数のほうまで進めることができました。終了の時間が迫っていますので、理科、生活科、保健、外国語、道徳については次回、協議を進めていくという形を

取らせていただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本当、長時間にわたる審議のほうありがとうございました。一応、本日の時間になりましたので審議を終了したいと思います。

次回、第4回になります。これが最終になります。今のところ算数まで終わりましたので、理科、生活、保健体育、外国語、道徳の5種目を絞っていくことになると思いますので、こちらのほうを最終的なところでやっていきたいというふうに思っておりますので、またどうぞよろしくお願いいたします。

暑さが続いておりますので、体調等に十分に気をつけていただいて、また4回の採決審議委員会には出席をぜひお願いできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、お忙しい中、教育委員会の委員の皆様も本当、傍聴していただきましてありがとうございました。次回もお時間ございましたらどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、事務局のほうにお返しします。

○事務局 委員長様、ありがとうございました。

皆様、大変お疲れさまでございました。熱心に御審議いただきまして、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

次回は8月8日火曜日、14時30分から佐世保市役所4階、第1委員会室で最後の採決審議委員会を行います。

資料につきましては、そのまま机の上に置いたままお帰りいただければと思います。もし、どうしても持ち帰られるという場合につきましては、事務局までお声かけていただければと思います。

それでは、以上をもちまして、第3回採決審議委員会を終了いたします。誠にありがとうございました。